



愛東だより

教育目標：豊かな心をもち、実践しようと努力する子
かしこい子【知】 やさしい子【徳】 げんきな子【体】

令和6年度
旭川市立愛宕東小学校
学校通信 第12号

令和7年3月25日（火）
発行

温かいご支援とご協力に感謝申し上げます

校長 澤 田 匡 史

1年生から5年生400名は、本日、修了式を迎え、令和6年度の全教育活動が無事終えることができました。今年度は、「なりたい自分に向かって、挑戦し続ける子の育成」を重点目標に学校運営を進めてまいりました。愛宕東小学校の子どもたちは、心も体も大きく成長しました。これもひとえに、毎朝、子どもたちを笑顔で送り出し、本校の教育活動に深いご理解とご協力いただいております保護者の皆様、地域の皆様方の温かいご支援とご協力の賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。

今後ご家庭でも、親子で成長を確かめ合い、良くなったところは認め、共に喜んでいただければと思います。そして、今は目に見えるような結果が出ていなくても頑張っていることは、大いに褒めていただけると幸いです。それが子どもたちの成長を支える大切なことだと思います。

ご卒業おめでとうございます

暖かく柔らかな陽ざしが降り注ぎ、旭川にもようやく春の訪れを感じさせる季節となりました。

3月19日、第40回卒業式を行いました。愛宕東小学校のリーダーとして活躍した6年生85名が保護者の皆様の祝福を受け、堂々と巣立っていきました。私は、式辞の中で次のことを卒業生に話しました。概要を記載します。

卒業にあたり、皆さんに大切にしてほしい三つのことを話します。

一つめは、「感謝」についてです。特に、「当たり前であること、普通であることに感謝できる人になってほしい」ことについてです。私たちは、人から親切にされたときや物をいただいたとき、うれしく思い感謝します。しかし、日常生活の中で特別に何かをされたり、もらったりしなくても感謝することはたくさんあります。ご飯を作ってくれて当たり前、服を買ってくれて当たり前、遊びに連れて行ってくれて当たり前、あまりに当たり前すぎて、その有り難さに気付かず見過ごしてしまっています。ありがとうございますと言われると心が温くなり、気持ちがよくなります。感謝の気持ちは、心を美しくしてくれます。そして、周りにいる人たちの心も美しくし、相手との関係をよくしてくれます。これから先、たくさんの「ありがとう」に気づき、感謝の気持ちを一つでも多くもてることを願っています。

二つめは「あきらめない」ことについてです。皆さんはこれまでいろいろなことに挑戦し、数多くの壁を乗り越えてきたことと思います。しかし、中には、うまくいかず悩んだり、苦しくて、立ち止まったりしたこともあったことでしょう。これからの人生においても、自分がしたいことが何もかも成功するとは限りません。一生懸命やってもうまくいかないこともあるでしょう。悔しくて涙するときもあるでしょう。しかし、そのときに、誰かのせいにしたり、何かのせいにしたりしてあきらめないでください。あきらめたら、そこで試合終了です。世界中の人たちが、一生懸命頑張る人の応援団です。失敗の連続であっても、様々な努力と工夫を重ね、突破口を見付け、成功に結び付けてください。

三つめは「挑戦する」ことについてです。ヘレン・ケラーは、こう言っています。「人生はどちらかです。勇気をもって挑むか、棒にふるか。」困難なことに挑戦した結果、もしかした

ら失敗してしまう可能性もあるでしょう。しかし、皆さんは挑戦することを選択すべきです。挑戦して失敗する可能性の方が高かったとしても、挑戦を経験する意味が大いにあるからです。挑戦し続けると、常に新しい体験に触れたり、新しい人に出会ったりします。自動的に新しいことに触れ続ける人生になりますので、人生が充実するのです。「あのとき挑戦しておけばよかった」そのように後悔しないように、何事にも挑戦するようにしましょう。「やった後悔より、やらない後悔の方が大きい」と言われます。やらずに後悔することの無いように、皆さんは挑戦することを選択すべきです。

令和7年度へ向けて ～学校運営の方向性～

昨年12月に多くの保護者の方々に本校の教育に関する「保護者アンケート」にご回答いただきました。ご多用の中、誠にありがとうございました。

保護者・児童アンケートや教職員による自己評価の結果を基に、令和7年度の学校運営方針について検討を進めてまいりました。次年度の改善の方向性がまとまり、より良い愛宕東小学校を目指すための計画の土台ができあがりました。これも、保護者の皆様のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

【確かな学力の面】

1 「主体的・対話的で深い学び」の実現

これまで「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、授業を工夫してきました。そのため、子どもたちの主体性や協働する力が高まりました。引き続き主体性や協働する力を育成するためには、子どもたちに明確な目標や見通しをもたせることや、協働的に課題を解決させる場面を適切に設定することを大切に授業改善を図ります。

2 授業改善と学習環境の整備

実践的な研修を基にした授業改善や少人数指導、子どもが安心して学習に集中できる環境(学習規律・言語環境・教室環境・掲示環境)を整えることを通して、学習内容の定着を図ってきました。今後も継続した取組を重視します。

3 協働する場面の意図的な設定

授業等において協働して取り組む機会を適切に設定してきました。そのため、子どもたちの「相手の話を聞いたり自分の考えを述べたりする力」が向上しました。加えて、折衷案を生み出したり相手に譲ったりすることができるようになった子どもが多くいます。今後も、協働することの価値や意味を理解させ、自己の考えを表出したり他の考えを聞いたりする場面をねらいに応じて設定し、より一層、協働する力の向上を図ります。

以上のことから、問題解決的な学習を基盤とした「主体的・対話的で深い学び」の実現、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現、学習規律の確実な定着を通して、学力向上はもちろん、子どもたちの主体性や協働する力、創造力、ゴールに向かって最後までやり抜く力、向上心を確実に育成することに注力します。

【豊かな人間性の面】

1 セルフコントロールできる態度や忍耐力の育成

子どもが相互に成長を実感しながら、自他共に認め合い、高め合える人間関係が十分に良好であるとは言えないため、仲間の気持ちを共感的に受け止め、自己の感情をコントロールしながら言動する態度を醸成する必要があると考えています。

2 相手意識をもって言動する態度の育成

困難に直面している状況に対して、うまく適応しながら成長していこうとする非認知能力で

ある忍耐力やセルフコントロール、回復力、失敗してもあきらめずに続ける粘り強さ、向上心に課題のある子どもがいるため、場適切に対応する態度や相手意識をもって言動する態度を育成する必要があると考えています。

3 規範意識の醸成と自己有用感の高揚

「東っ子のやくそく」や「東っ子の当たり前10か条」、「生活目標」、「東っ子の学習7か条」等を基に、集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などの規範に基づいて、主体的に判断し行動しようとする意識を醸成してきました。今後も継続する必要があると考えています。

また、規範意識を支える自己有用感を高めることにも力を注ぐ必要もあります。そのために、様々な活動において、子どもが役割や責任を果たしていく場を多く設定します。自己の力を発揮して活躍できるようにすることで、「感謝されてうれしかった」、「自分は頼りにされている」、「誰かの役に立っている」、「みんなから認められている」といった自己有用感を高めていきます。

以上のことから、道徳教育および特別活動の中核とし、相手を思いやる気持ちを醸成したり、協力することの大切さに気付かせたりする活動を意図的に設定します。また、仲間の気持ちを共感的に受け止め、自己の感情をコントロールしながら言動する態度の育成も重視します。

【健やかな体の面】

1 体力向上

＜新体力テスト結果より＞

○握力(2・4・5・6年実施)は、男女ともに全国平均を上回りました。

○反復横とび(2・4・5・6年実施)は、どの学年も男子が全国平均を上回りました。

○長座体前屈(1・3・5年実施)は、どの学年も女子が全国平均を上回りました。

△全学年実施した50m走は、4年男女5年男子以外は全国平均を下回りました。

△20mシャトルラン(2・5・6年実施)は、どの学年も女子が全国平均を下回りました。

△反復横跳び(2、4、5、6年実施)は、どの学年も女子が全国平均を下回りました。

・男女ともに50m走の記録が全国平均よりも下回っています。原因の1つに、冬期間は走る機会が減ったことをあげることができます。今後も、子ども自身が自己の体力テストの結果を知り、体力向上に関心をもたせ、意欲につなげることが必要だと考えます。学校では、縄跳びチャレンジの取組を継続し、基礎体力を高める他、体力アップ運動に取り組めます。

2 規則正しい生活習慣の確立

生活習慣に問題を抱える子どもや長時間テレビゲームをしたり動画を視聴したりしている子どもがいます。SNSによる問題も発生しているため、定期的にスライド30を設定してきました。今後も継続してスマホの使い方やアウトメディアについて、家庭と連携して取り組む必要があると考えています。

3 危機回避能力の定着

登下校中において安全意識に欠ける行動を取る子どもが少なからずいます。引き続き、安全指導の徹底を図る必要があります。併せて、危機回避能力の着実な定着についての取組も重視します。

以上のことから、今後も運動に親しむ機会を意図的に設定するとともに、体力向上に関する取組や体育の授業改善を図ります。加えて、規則正しい生活習慣を確立させるための取組やアウトメディア、危機回避能力の定着についての取組も行います。

同窓会の入会式が行われました。～4800名以上の先輩方との絆を大切に～

3月12日(水)、第1回の卒業生である菅野同窓会長をお迎えして同窓会入会式を行い、6年生85名が、新たに同窓会の一員となりました。菅野会長からは、40回目の同窓生に期待することや今後の中学校生活で頑張ってもらいたいことなどのお祝いの言葉をいただきました。

また、6年生を代表して佐藤悠人さんと佐藤由梨さんが、同窓生として先輩方との新たな絆が生まれた喜びやその絆を大切にすることで自分たちの財産としたいという誓いの言葉を堂々と発表するとともに、佐々木凜さんのピアノ伴奏で校歌を斉唱しました。

第40回卒業式が行われました。～6年生85名が「最高到達点」に～

3月19日(水)、第40回卒業式を挙行し、校長先生から6年生一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業証書を受け取るために登壇した6年生は、これまでの思い出や保護者の方への感謝の気持ち、将来の夢の実現に向けた思いなどを自分の言葉で伝え、未来に向けた新たな一歩を力強く踏み出しました。

また、卒業生を代表して児童会会長の坂口司龍さんが、最高学年としての自覚を持ち過ごしてきた1年間の思い出を振り返るとともに、仲間や家族の大切さや先生方への感謝の言葉を堂々と発表しました。佐々木凜さんのピアノ伴奏での校歌斉唱や、八重樫奈菜さんのピアノ伴奏での合唱「一歩」も力強い歌声で感動的でした。

在校生を代表して参加した4、5年生は、下級生の先頭に立ち、素晴らしい姿を見せてくれた6年生の姿を目標に、4月から新しい学年で頑張ってくれることと思います。

6年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

人事異動のお知らせ

令和6年度の人事異動で、下記の教職員が転出します。これまで大変お世話になり、ありがとうございました。

校長：澤田 匡史(ご勇退)
教諭：内田 美幸(富良野市立扇山小学校)
教諭：山本 千帆(旭川市立旭川第5小学校)
教諭：渡部 紗季(中川町立中央小学校)
教諭：木末江美子(ご勇退)
養護教諭：中村 文恵(旭川市立東光小学校)
事務職員：松岡 愛美(ご勇退)
特別支援補助指導員：蛭名 さち(ご勇退)
用務員：赤坂 良雄(ご勇退)
専門補助員：岩井 香織(2月末でご勇退)
調理指導員：木下 陽子(旭川市立愛宕小学校)
給食調理員：飯島 明美(旭川市立東町小学校)



4月の主な行事予定

7日(月)：着任式、始業式、街頭指導
8日(火)：入学式、街頭指導、給食開始(2～6年)
9日(水)：1年下校指導①、街頭指導
10日(木)：学力検査(2～6年)、1年下校指導②、街頭指導
11日(金)：知能検査(2・5年)、1年下校指導③、街頭指導、わかば教室(1年)
14日(月)：視力検査(5・6年)、1年給食開始
15日(火)：視力検査(3・4年)
16日(水)：歯科健診(全学年)
17日(木)：全国学力・学習状況調査
〔国語・算数・理科〕(6年)
視力検査(1・2年)

18日(金)：全国学力・学習状況調査
〔児童質問調査〕(6年)、
二計測(3・4年)
21日(月)：朝会、二計測(5・6年)
22日(火)：尿検査(全学年)
23日(水)：二計測(1・2年)
24日(木)：全校参観日、学校説明、PTA総会、
学年懇談(全学年)、聴力検査(5年)
25日(金)：聴力検査(2・3年)
28日(月)：聴力検査(1年)
29日(火)：昭和の日

